

# 米子市赤十字奉仕団だより

平成二十五年二月一〇日発行



### 赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人々の幸せを願ひ陰の力となって人々に奉仕する
- 二、常にくふうして人々のためによりよい奉仕ができるように努める
- 三、身近な奉仕を広げてすべての人々と手をつないで世界の平和につくす



### 平成二十五年を迎えて

委員長 岡田 信行

平成二十四年度諸行事もほぼ終了しました。あと一か月余りあります。この一年間団員のみなさんには、いろいろと協力いただきありがとうございました。この場をお借りして厚くお礼申しあげます。二十五年度も相変わりなく諸行事があります。その節には宜しく協力して頂きますようお願いいたします。さて、今年はい年ですね、殻を破って脱皮し、今までより以上に良い奉仕団となるように願っています。団員のみなさん！米子市赤十字奉仕団のため頑張りました。



左の写真は、赤十字本社です。昨年個人的に訪問しました。資料室で、職員の方に赤字の生立から始めいろいろと説明を頂きました。勉強になりました。また、西部地区研修会には、皆さんの協力有難うございました。

### 赤十字奉仕団歳末募金活動に参加して

5班 西山 満壽美

平成二十四年十二月六日(木)「NIKK海外たすけあい」募金活動を高島屋周辺で行いました。この日は、学校も休校になるほどの悪天候で、寒い中、大きな声を出し合い募金をお願いをしました。見ないふりをして通り過ぎる方、他で募金をしているからお断りされる方、等、など、お財布の中の小銭を全部入れて下さった若い方、快く募金をして下さる高齢の方、「寒いのに大変ね」と声をかけて下さる方、人それぞれ、様々ですが、一人のほんのすこしの、募金も、たくさんの方々の善意があれば何かに役立ちます。人口減少、大震災、経済も不安定な今の時代、皆が支え合い、認め合いながら活動していけば大きな力になると思います。社会をほんのわずかでも明るくしたい、そんな想いでこれからも、声を出し続けたいと思いました。

### 年頭に思うこと

広報部長 岡本 静江

皆様明けましておめでとうございます。平成二十五年一月十日、新年会をアザレアコートで開催し一六名が出席しました。今まではふれあいの里で行っていましたがやはり弁当程度では何か物足りなさを感ず(誰の発案か知りませんが)今回雰囲気もよく和気藹々で行うことが出来良かったと思います。年間行事が色々ありましたがいつも感じることは街頭での募金活動が、はかばかしくありません特に若い人たちの関心さです。年配の人たちが、募金に応じてくれる姿に感動します。何か良い方法はないものかいつも思っています。本年もまだ二月でありいろいろな行事もありますので皆様沢山参加し米子市赤十字奉仕団を盛り上げていきましょう。

### 赤十字の7原則

- 人道 Humanity
- 公平 Impartiality
- 中立 Neutrality
- 独立 Independence
- 奉仕 Voluntary Service
- 単一 Unity
- 世界性 Universality



西部地区研修会(九月二日(日)ふれあいの里)



共同募金 10/19

歳末募金 12/6



防災について

六班 仁田 浩司

命の選択が普遍的に次の大災害に対応する防災減災のための訓練が、どう戦略的に地域赤十字奉仕団が担って地域住民との良質なコミュニケーションが成立し防災計画に対して役割分担を仕分けて赤十字の原則に反しない領域で行動し、行動のアリゴリズム通り支障なく活動できるのか最新の情報通りの防災マニュアルと憲法の原則を出来るだけ尊重して公共の福祉に反しない範囲と、国民世論の支持で限られた資金で行動しなければならぬ。防災行動が後の復興を妨げないように、公私の財産権を侵害しないように合理的に事前に頭上訓練と具体的に想定しシミュレーションに沿って行動を繰り返して、即効性あるものに仕上げているかねばなりません。昨年一〇月地震津波を中心として県市合同の防災訓練があり参加し、感じたことには防災マニュアルを忠実に演出されていたが参加の住民との連携でちぐはぐな行動が目立っていて実際に災害が発生した場合の時の大きな不安が表出しました。プロでさえ多くの課題が将来解決する



事が重要であると認知しなければならぬ。実際に米子市赤十字奉仕団が地域的な要請に答えていかななくてはならない。

総合的に多くの要請を分析し、各定例会で目標を決め想定外の多重災害に対しても対応できる赤十字奉仕団の体制を戦略的に変身し多角的に随時付加しながら、自治体との協調(ハザードマップでの防災指針)し地域住民とコミュニケーションを常時連携しながら、外部からのアドバイスを拒否せず尊重しながら協議していく姿勢が大切ではないかと感じます。それと、新しい防災イノベーションを積極的に導入し、防災意識を強化グローバルイズムで在留外国人が増加している現状に応じ、すべての住民に対して人道主義で米子市赤十字奉仕団の使命は大きくなっていき被災者と共に苦難に立ち向かう勇氣などのモチベーションが常に将来に向かって明るい世界に展望が創造出来るように精進して、モラルと品格ある世界へ通じる赤十字奉仕団にしていかなければなりません。新たな目的に向かって責任と日本人としての伝統の自負を背負って生きていかなければなりません。

新入団員の紹介

吉元 正栄さん



赤十字の信条の下  
みなさんと一緒に  
なって頑張ります。  
どうかよろしく、  
お願いします。

事業報告

四月四日	西部地区赤十字奉仕団会合
四月五日	米子市赤十字奉仕団総会
四月六日	ボランティア協議会役員会
四月七日	仁風壮花見支援
四月二六日	春の研修会・日赤病院
四月二七日	ボランティア協議会総会
五月一〇日	日赤キャンペーン実施
五月一九日	防災ボランティア研修会
六月七日	定例会・AED訓練
六月十四日	米子市社協封入作業協力
六月一五日	赤十字リーダー研修会
六月二九日	西部地区常任委員会
七月五日	定例会リサイクル製品造り
七月九日	西部地区委員長会議
七月一五日	皆生トライアスロン大会
八月二日	定例会
八月四・五日	がいな祭り
九月二日	西部地区赤十字研修会
九月六日	定例会
九月一三日	共同募金打ち合わせ会
九月二二日	仁風壮敬老会支援
九月二三日	一〇〇〇人ウォーク支援
一〇月四日	定例会・Gゴルフ交流会
一〇月七日	秋の研修会・出雲神話映像館
一〇月八日	アクアスロン大会
一〇月一九日	共同募金
一〇月二七日	ミニボラ祭
一一月一日	定例会
一二月六日	定例会・歳末たすけあい募金

編集後記

米子市赤十字奉仕団がより一層「輪」をもって頑張ります。しよう。

編集責任者

広報部長 岡本 静江



(左) 研修会・(右) 1000人ウォーク